

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		峰山クリーンセンター改修事業			
事業の概要	6.7t/日の可燃ごみを焼却できる施設として、平成14年3月から稼動している峰山クリーンセンターは、合併前の旧6町が建設費を負担し広域的に運営され、現在も市内全域の可燃ごみを処理している。 本施設は、焼却処理において発生する各種のダイオキシン類の発生しにくい焼却炉本体をはじめ、複数設置しているガス冷却設備・通風設備・電気計装設備等を計画的に改修し、常に環境への対策を講じている。				
	事業期間	平成16年度～20年度			
	総事業費	898,000千円	本年度事業費	145,635千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	焼却処理において発生する各種の有害物質を限りなく抑制するため、24時間連続運転で常に850度以上の高温燃焼により、ダイオキシン類の抑制を図っている。そのために焼却炉本体の維持や排ガスの急速冷却装置、高性能バグフィルター等を装備するなど、常に環境に配慮した施設として適正な稼動とランニングコストの抑制が必要となっている。			
	事業の有効性	能力低下した設備を計画的に改良・更新することで、環境基準を遵守した可燃ごみの適正処理をおこなうことができ、あわせて施設の継続稼動を維持することができる。			
	事業の効率性	計画的な施設の改良・改修をおこなうことにより、市内唯一の可燃ごみ処理施設として効率よく維持管理でき、またランニングコストに配慮した長期稼動が可能となる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果 通常の法的基準以上に自主的な公害基準を設け、可燃ごみ処理の際に発生するダイオキシン類の発生を抑制する対策を講じることによって、周辺地域への自然環境の保全をはじめ、地球規模での環境保全に配慮できる。					
5 行財政改革に資する成果 市域の可燃ごみ処理を1施設で処理することで、維持管理経費の節減を図ることができ、効率的な財政運営が図れる。					
6 その他の成果 平成19年度実施内容 受入供給設備整備 燃焼設備整備 ガス冷却設備整備 排ガス処理設備整備 通風設備整備 灰出設備整備 給排水設備整備 電気・計装設備整備 雑設備 リサイクルプラザ設備整備					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		し尿処理施設改修事業					
事業の概要	下水道整備による水洗化を推進しているが、計画区域外や供用開始ができていない区域のし尿処理、また個人設置浄化槽や下水道処理施設から排出される汚泥物を処理しなければならないため、能力低下した設備等を計画的に改良・更新することで効率のよい稼働に努めた。 網野衛生センター施設 前処理設備・モノポンプ・焼却設備・脱臭設備・洗浄水管更新 竹野川衛生センター施設 汚泥乾燥焼却設備・配水管布設替工事						
	事業期間	平成17年度～21年度					
	総事業費	265,000千円	本年度事業費	60,916千円	交付金交付額	19,000千円	
事業評価	事業の必要性	本市には3施設のし尿処理施設があるが、なかでも2施設は稼働後20年近く経過しており、設備の老朽化や能力低下が著しい。このため、計画的に改良・改修し、適正な処理と稼働に努める必要がある。					
	事業の有効性	計画的に改良・改修することで処理能力を高め、その施設の継続稼働が可能となる。					
	事業の効率性	設備・機器の更新、改良、改修をおこなうことで効率よく処理でき、ランニングコストに配慮した長期稼働が可能となる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果 新規処理施設の整備でなく、施設改修等による適正稼働を継続することで投資的経費やランニングコストを抑制し、効率的な財政運営が図れる。							
6 その他の成果 下水道接続等によりし尿処理量の減が見込まれるものの、個人設置浄化槽や公共下水道から排出される汚泥は今後更に増加される見通しであるため、効率的な稼働と施設の延伸に努める。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		美しいふるさとづくり事業			
事業の概要	<p>豊かな自然と優れた歴史・文化遺産を数多く保有し、併せてそれらを次代に継承するために、その価値や環境保全の大切さを広く周知していく。</p> <p>鳴き砂国指定記念講演会開催経費 日本最大級の鳴き砂の浜「琴引浜」が国指定天然記念物・名勝として国の文化審議会から答申を受けたことを記念し講演会を開催した。</p> <p>”鳴き砂の浜”としては全国でも初めてとなることから、地元「鳴り砂を守る会」をはじめとする方々に講師として参集していただき、保全活動の大切さを広く周知・発信した。</p> <p>環境シンポジウム開催経費 昨年度、環境省が主催する「循環・共生・参加まちづくり表彰」において、府内初めてとなる環境大臣賞を受賞した。この受賞を、市民・企業・行政等が一体となって得た榮譽とするだけでなく、一人ひとりが「今、私たちにできること」を自発的に考え、行動するためのきっかけとするために「環境シンポジウム」を開催した。</p>				
	事業期間	平成19年度～21年度			
	総事業費	25,000千円	本年度事業費	1,992千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	自然構造の変化や、地球規模での環境破壊等、知らず知らずのうちに丹後の自然も劣化を続けている。そのなかで、保全活動をおこなっている方々の苦労や体験・取り組みを共有し、一緒に課題等を考えることで、貴重な自然資源を「次代につなぐ」手法のヒントを得る。			
	事業の有効性	本市を取り巻く自然環境・文化遺産を見つめなおし、環境保全について「意識」から「実行」へ繋ぐきっかけづくりとすることができる。			
	事業の効率性	市民が自らの地域の自然環境に関心を持ち、実践することにより、市民力の向上を図ることができる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 誰もが気軽に参加できる講演会や体験学習を通じ、環境保全について「意識」から「実行」へ繋ぐきっかけをつくることができた。 個人やグループ、NPO等が創意工夫し、自主的な運動や取り組みができた。			
		3 リーディング・モデル成果 ”鳴き砂の浜”としては、全国でも初めての国指定天然記念物・名勝となったことから、改めて本市のPR活動が図れ、地域の活動状況を広く周知することができた。			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		地域水洗化先導事業				
事業の概要	<p>公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現や美しい自然環境を継承し、併せて市域の均衡ある発展に資するため、下水道整備による水洗化に取り組み、整備完了区域から順次供用を開始している。 環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するため、供用開始された区域内にある公共施設等の下水道接続と既存施設の適正閉鎖工事を先導的に実施し、各家庭における水洗化意識の高揚と下水道への速やかな接続を促進する。</p> <p>公共施設下水道接続工事 市営住宅荒山団地下水道接続工事(H19.5.30現在 入居者42人、12世帯) 地域集会施設下水道接続事業補助金 荒山区公民館(峰山町荒山地区 H19.5.30現在人口1,889人、709世帯) 加茂川公会堂(網野町木津加茂川地区 H19.5.30現在人口178人、56世帯) 甲山区公民館(久美浜町甲山地区 H19.5.30現在人口435人、128世帯)</p>					
	事業期間	平成17年度～21年度				
	総事業費	101,000千円	本年度事業費	4,273千円	交付金交付額	2,136千円
事業評価	事業の必要性	市が取り組んでいる下水道整備について、さらに啓発・理解してもらうよう供用開始された区域内にある公共施設の速やかな下水道接続等を実施し、各家庭への普及を促進する。				
	事業の有効性	各世代が利用する公共施設を先導的に接続することで、水洗化の利便と快適性を広く周知するとともに、下水道施設の費用対効果を高める。				
	事業の効率性	環境に配慮した地域水洗化を早期に実現するために、公共施設の下水道接続等を積極的に実施し、水洗化率の向上と下水道事業特別会計の効率的な財政運営を図る。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果 供用開始区域の公共施設を速やかに下水道接続を実施することで、公営企業としての財政の健全化を図ることができる。						
6 その他の成果 平成19年度実施施設 公共施設 1施設 地域集会施設 3施設 合 計 4施設						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:京丹後市

事業名		下水道整備推進対策事業				
事業の概要		<p>公共用水域の水質保全を図り、快適な生活環境の実現と美しい自然を保全し、市域の均衡ある発展に資するため、合併前からすすめられてきた下水道整備による水洗化に取り組む。</p>				
	事業期間	平成16年度～20年度				
	総事業費	2,575,000千円	本年度事業費	581,872千円	交付金交付額	1,880千円
事業評価	事業の必要性	<p>恵まれた自然環境の保全と広域的な環境負荷削減のために汚水処理施設整備は不可欠であり、市域の均衡ある発展に資するため計画的に整備をしていく必要がある。</p>				
	事業の有効性	<p>計画的に下水道整備をおこない、その施設の機能と効果を最大限に発揮できるよう積極的に啓発・推進をおこない、あわせて自然環境への影響を認識してもらう。</p>				
	事業の効率性	<p>整備区域内の計画的かつ効率的な整備とあわせ、完了後の速やかな供用開始によって、公営企業としての財政の健全化を図ることができる。</p>				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果		<p>整備完了後の速やかな供用開始を促すため、受益者分担金の早期加入軽減や分納納付などの制度を設け、水洗化普及率の向上に努めた。</p>				
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。